

## 2022年度理事長所信

一般社団法人中津川青年会議所  
第68代理事長 柴田 郷史

### 共に創ろう 笑顔溢れる未来 ～今だからこそ想いひとつに～

～はじめに～

私が、中津川青年会議所への入会を決めたのは、自身や自社の成長になればとの想いが強く、決して地域や社会への関心が高かったわけではありませんでした。入会した当時を振り返ると、なぜ先輩諸兄が、自身や家族、仕事の時間を割いて、まちのために時間を使っているのか疑問すら感じていました。しかし、活動をさせていただく中で、まちの未来を想い描き、地域や社会の課題に本気で向き合う先輩諸兄の姿と、忙しい中でも私の成長を願い、できるまで寄り添ってくれた温かい人間性に惹かれ、その輪の中に入りたいと思うようになりました。それからというもの、私の日常は少しずつ変化していきました。これまで手に取ることのなかった地域の広報誌を読むようになり、気にしていなかった社会情勢や社会問題に目を向け、出会うことのなかった地域で活躍する方々と、共に地域を想い活動ができる今の私があるのは、中津川青年会議所があったからです。私とその一人だったように、中津川青年会議所の活動や運動は、多くの方々の意識や行動を変え、まちに影響を与え続けてきたからこそ信頼され、本年で68年目を迎えます。私は、これまでの貴重な経験と、知識を与えていただいた中津川青年会議所に心からの感謝を表すと共に、先輩諸兄から引き継いだ地域や人を想う熱い気持ちを胸に、築き上げていただいたこの団体の価値をさらに高め次代へと繋げてまいります。

現在の日本では、少子高齢化をはじめ多くの社会問題により、地方の衰退が懸念されています。そのような中で、新型コロナウイルスを起因とするパンデミックにより、これまでのライフスタイルや考え方に浸透しつつあった常識の変容を強いられました。しかしそれは、悪いことばかりではなく行動の制限は、住まう地域に目を向ける機会となり、物理的・社会的な距離をとることが推奨される価値観は、地域に新たな可能性をもたらすと共に、コミュニケーションや思いやりの大切さを実感できる機会となったと考えます。私は、この小さな意識の変化を、大きな力に変えることができれば、様々な社会問題の解決に向けた希望の光となると信じます。

青年会議所は、私たちの土台であり多くの成長の機会を与えてくれますが、運動そのものを創り出すのは私たち会員一人ひとりです。地域に新たな可能性が生まれた今だからこそ、まちや人により影響を与えることができる人財へと成長していきましょう。そして、青年らしい大胆な発想と、突き進む行動力、そして、困難に負けない情熱をもって、この地域に生まれた光を大きなものとし、未来の笑顔溢れる中津川を共に創っていきましょう。

### ～ビジネスを活かした会員資質の向上～

青年会議所の使命は、J C I M i s s i o nにあるように、より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供することであり、運動の作り方を学び、実行する中で、自身や自社の成長に活かせる能力や人脈、マネジメント力を得られる団体です。しかし近年、在籍年数の低下や思うような活動や交流ができなかったこと等、会員の成長の機会が減少していると感じます。

青年会議所がより良い運動を行い、魅力的な組織であり続けるには、個の成長こそが重要であり、運動を行う中で得られる成長の機会だけでなく、直接的に個の成長に繋がる機会を増やしていく必要があると考えます。私たちの入会目的はそれぞれ違うと思いますが、自身や自社の成長を目的として入会を決めた方が多いのではないのでしょうか。だからこそ、「未来を見据えた経営」について学ぶ機会と、会員間でのビジネス交流の機会、そして、中津川青年会議所だけでなく、企業や他団体との交流の機会を増やし、互いに高め合うことができる「交流の活性化」を図ることが、会員の個の成長や活動意欲の向上に繋がり、組織としての価値をさらに高めると共に、地域社会、経済の発展に寄与できると考えます。

### ～共に創る笑顔溢れる中津川～

中津川市は、リニア中央新幹線の開業という絶好の機会を活かすためにも、中津川市総合計画の中で、「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川」を将来都市像として掲げています。リニア中央新幹線の開通は、県外内問わず多くの方々に中津川に訪れていただく機会をもたらします。その効果を更なる発展の機会とするためには、訪れた方々に、この地域に関心をもっていただき、「また来てみたい」「住んでみたい」と感じていただける魅力と活気あるまちづくりを行政だけでなく、そこに住まう方々が自ら考え、行動していく必要があると考えます。そこで重要となるのが、柔軟なアイデアや、時代に合わせた発信ツールを持つ若者のまちづくりへの参画だと考えます。しかし現状、まちづくりへの関心をもつ若者は増えてきてはいるものの、行動に移せている方は少ないと感じます。

その原因は、関心ある若者が行動に移すための過程を学ぶ機会や、仲間を作る環境がないことだと考えます。だからこそ私たちが、関心ある若者たちの想いをさらに強くし、行動に移すための機会を提供していく必要があると考えます。また、中津川市にはこれまで地域を想い活動してきた方々がいます。そうした方々や、専門的な知識をもった方々、関心ある若者を繋ぎ、掛け合わせることで、より具体的で魅力的なまちづくりを進めることができると考えます。そして、住まう場所や、会場の制限がなく参加ができるようになった環境を活かし、その活動に参加していただけた方だけでなく、多くの若者へ「自分たちでもできる」という意識を波及させ、まちづくりに取り組む若者を増やしていくことが、このまちに新たな可能性を生み出し、持続的な地域の活性化に繋がり、ひいては、このまちに住まう方々の笑顔へと繋がると信じます。

### ～持続可能なおいでん祭～

中津川夏まつりおいでん祭は、先輩諸兄が熱い想いを胸に様々な手法を用いて広める活動を行ってきたからこそ、このまちの夏の風物詩として定着し、今年で36回目を迎えます。しかし、2年続けて本祭が中止となり、関係団体では未だ練習再開の目途が立っていない団体もあります。また、おいでん祭の関係者向けに行ったアンケート調査の結果では「団体としての再開をどのようにすればいいのかわからない」「指導者が高齢化しており技術の継承が難しい」「モチベーションが保てない」等、おいでん祭の存続に関わる問題を抱えています。

そうした状況だからこそ、実行委員会として今後のおいでん祭の方向性を協議し、具体的な進め方を定めたうえで、実行委員会全体で問題を解決していく必要があると考えます。そのためにも、おいでん祭の企画・運営を担う私たちは、市民の方々の声、関係者の方々の声を聞き取り、課題を整理し実行委員会へ伝えていくと共に、開催方法についても、各団体の状況を考慮し、各演目の時間や順序、演出の仕方、運営方法や予算面も見直しをかけ、本年度だけではなく今後を見越した持続可能な開催案、運営方法を提案していく必要があると考えます。想いを持って携わる方々と、参加した市民が一体となれるまつりを開催し、人と人との心の距離を縮め、笑顔溢れるまつりを開催することができたとき、特別な思い出となるふるさとのまつりとして、誰の心にも繋がっていくと信じます。

### ～中津川青年会議所の更なる発展に向けて～

青年会議所は、多種多様な青年経済人が集まり、自由闊達な意見を交わし運動することで、時代をリードする新たな挑戦を行ってきた団体です。しかし近年、中津川青年会議所の会員数は減少が続いており、このままでは運動の発信力低下に繋がり、組織の存在意義にも関わります。そうならないためにも、会員の拡大は急務であり、全会員で考え取り組んでいく必要があります。会員の拡大には、団体の活動、運動に対して賛同していただくことが重要であり、企業、行政、他団体との交流の機会を増やしていくと共に、効果的な情報発信を行っていくことで、私たちの活動・運動を知っていただく機会を増やしていく必要があると考えます。

そして何より、私たち自身が中津川青年会議所のことを理解し、笑顔の溢れる組織、魅力ある人財でなければ人は集まらないと考えます。社会や環境の変化により、会員の意識が変わりつつある今、定款・諸規定や、これまで慣例として行っていたことの見直しを図る必要があると考えます。また、現状への対応だけでなく、今後起こりうる問題も考慮した、未来を見据えた計画的な組織の改革を進めていく必要があると考えます。青年会議所として守らなければならないこと、変えるべきことを全会員で議論し、組織の環境を、未来を見据えたより良いものとし、会員の笑顔が溢れる組織づくりを進めてまいります。

### ～おわりに～

青年会議所は未来を明確に想像し行動さえすれば、無限の可能性に溢れていると考えま

す。先輩諸兄が積み上げてきた実績と関係各所からの信頼があり、支えてくれる方々と全国に仲間がいるからです。もちろん、守らなければいけない規律はありますが、青年会議所としての規律は自身の成長と、より良いものを生み出すためにあるはずで、行動に制限をかけるためではありません。なぜ青年会議所に所属しているのかを今一度考え、自ら行動に移していきましょう。そして、私たちだけでなく、多くの方々、団体を巻き込み、共に笑顔溢れる未来を創っていきましょう。

#### <運営方針>

- ・ J A Y C E E として責任ある行動
- ・ 強い絆で繋がり支えあえる委員会運営
- ・ 誰もが笑顔になれる未来を見据えた L O M 運営

#### <運動方針>

- ・ ビジネスを活かした J A Y C E E の育成
- ・ 市民協働が創る笑顔溢れる中津川